

# 詰将棋の解き方講座

## ●詰将棋は仮定法を使うと速く解ける！

詰将棋は頭の中で手順を並べない。この駒が消えたら、この駒がここにあったらなどと考えましょう。頭の中で正解かも分からない手順を並べるのは時間のロスでしかありません。

## ●仮定法 4 つの法則

詰将棋は相手の王しかいない関係で単純に考えられるようになっています。  
まずは詰将棋の基本法則を頭にたたきこみましょう。  
詰将棋慣れしていない人は詰将棋でも駒の損得を考えて飛車切りをためらったりしますが、詰将棋では駒の損得は一切考える必要なし！

1. 王様がどこにいたら？（出現率 40%）
2. 王様の周りの駒（守り駒）がどこにいたら？（出現率 30%）
3. 自分の駒（攻め駒）がいなかったら？（出現率 20%）
4. 自分の駒（攻め駒）がどこにいたら？（出現率 8%）
4. 並べ詰め、両王手など（出現率 2%）



## ●邪念を振り払え

詰将棋問題を目にしたときにまずどんな事を考えるでしょうか？

「難しそうだ」「速く解いてお菓子を食べよう」「早く解けたらかっていい」こんな事を考えるのは競技においては時間の無駄です。

といっても煩悩を断ち切るのは難しいので詰将棋を前にしたときの自分なりの儀式を考えておきましょう。例えば相手玉の逃げ道を数えるなど。

